

## 平成24年度

### カリキュラム委員会（第4回）議事要旨

- 日時：平成24年11月16日（金） 15:00～16:30
- 場所：全学教育管理・講義A棟 6階 大会議室
- 出席者：委員長 箕島（実施調整部長）  
委員 江川（機構長）、竹村（企画開発部長）、岡島（文）、舟場（文）、竹中（カレッジ）、高田（人）、河野（言（外））、田中（法）、山本（経）、佐々木（経）、内田（理）、杉山（理）、蔵田（理）、井上（理）、金岡（理）、廣野（理）、松尾（医）、藤堂（医）、吉田（歯）、狩野（基）、木村（言）、三宅（言）、三藤（言）、松本（言）、小林（生命（基））、大谷（国セ）、宮久保（博）、安福（サ・阿部代理）、窪田（全教）、森（全教）、小松（全教）、坂東（全教）  
オブザーバー 井上（医保・三上代理）
- 欠席者：青野（人）、北村（法）、近藤（薬）、南方（工）、松繁（国公）、西田（保セ）、清川（サ）
- 陪席者：徳野事務長、都々木教務係長、山中教務係主任、小坂教務係員

#### 議 題：

議事に先立ち委員長から、前回の本委員会議事要旨（資料1）の確認があった。

#### 報告事項

- 平成25年度基礎教養科目（基礎教養1）・専門基礎教育科目（文系）におけるG30（人間科学コース）開講科目の一般学生への開放について（資料2）  
委員長から、資料2に基づき、各学部へ卒業要件単位としての配当について照会した結果、以下のとおり取り扱う旨報告があった。
  - 基礎教養科目（基礎教養1）2科目について、医学部保健学科および理学部を除く各学部において、選択科目として卒業要件に算入する。
  - 専門基礎教育科目（文系）1科目について、法学部を除く各文系学部において、選択科目として卒業要件に算入する。また、委員長から専門基礎教育科目（文系）として開講する「Introduction to international Relations」は、既存の科目「国際関係論入門」（日本語科目）と授業内容が同一であるため、重複受講は不可としてシラバス等に明記し、学生が混乱しないように周知する旨報告があった。
- 平成25年度高学年次教養教育（高度教養教育）開講科目について（資料3）  
委員長から、資料3に基づき報告があった。

3. 平成25年度全学共通教育学年暦について（資料4）

委員長から、資料4に基づき報告があった。

なお、第1学期の授業・試験実施期間に他学部が実施する行事等（集中講義など）との重複により調整に苦慮している旨発言があり、これを受けて委員長から、当該期間中に行事等を入れないように、本機構から各学部に依頼文書を送付する旨発言があった。

4. 平成24年度第1学期成績結果の誤記入等に関する申立て状況について（資料5）

委員長から、資料5に基づき報告があった。

なお、受付総数55件のうち17件（30%）の成績訂正があったことに対して、成績結果の誤記入等を未然に防止する観点から点検作業・入力確認を十分に行っていただくよう、引き続き各部局の関係教員に周知をお願いしたい旨発言があった。

## 協議事項

1. 平成25年度開講授業科目等について（資料6）

委員長から、資料6に基づき以下のとおり説明があり、審議の結果了承された。

- ・本資料は前回（9月21日）本委員会です承された担当部局、開講曜日・時限、コマ数等に基づき、各部局に担当教員選出を依頼し、回答を取りまとめたものであり、各学部から変更依頼を受けた箇所は反映されている。
- ・今年度4月に旧大学教育実践センターから評価・情報分析室に異動となった准教授の担当科目分について、企画・評価担当理事から、評価関係業務に注力のため担当科目数軽減の依頼があり、本機構執行部および当該科目小委員会において検討した結果、3科目から1科目の担当としている。
- ・グローバルコラボレーションセンター教授の担当科目「世界は今」については、同教授の今年度限りの定年退職により、同センターの現有スタッフでは開講が困難なため、後任として現在募集中の教員に当該科目に代わる共通教育科目を今後、担当いただくこととしている。
- ・今年度途中で本機構の大学院横断教育部門に採用となった准教授については、来年度から新たに2科目を担当いただくことになっている。

なお、本資料は時間割データやシラバスを作成する際の基礎資料となるため、未確定部分については、速やかに決定いただき、本機構の教務係へ連絡いただきたい旨発言があった。

2. 「授業概要（シラバス）」の作成方針について（資料7）

委員長から、資料7に基づき説明があり、審議の結果了承された。

3. 平成24年度授業担当教員等の変更等について（資料8）

委員長から、資料8に基づき説明があり、審議の結果了承された。

4. 平成25年度外国語教育科目・国際教養2における非常勤講師任用について（資料9）  
委員長から、資料9に基づき、本件に関連してカリキュラム編成の基本方針および昨年度2月の臨時カリキュラム委員会での議事について詳細な説明があった。

引き続き、常勤教員から非常勤講師への科目担当の変更について、言語文化研究科・外国語学部および言語教育部門・言語教育部会での検討状況などについての説明の後に、平成24年度に特例措置として了承された16コマを、平成25年度は9コマに圧縮して認めていただくこと、および残りの非常勤講師分担コマ数を零にする努力を続けていく計画を認めていただきたい旨の依頼があった。

種々意見を交換して審議した結果、次回（12月21日）の本委員会までに平成25年度の非常勤講師担当の9コマをできる限り減らす努力をしていただくこと、また、どうしても非常勤講師担当コマ数を零にすることができない場合は、具体的な削減計画案（平成26年度以降に元に戻す計画）を示していただくことを条件に継続審議することとした。

● その他配付資料

カリキュラム委員会（第3回）議事要旨（資料1）

次回開催： 平成24年12月21日（金） 15：00～（予定）